



診療内容

●ANK 癌免疫療法



ヒヤリングから検査まで、スタッフが親身に寄り添い、共にがんの完治を目指すスタイルは多くの患者から支持されている。



採取されたリンパ球に含まれるNK細胞を活性化しながら、選択的に増殖させていく。2〜4週間で数百倍になることも。



理事長・院長 樋脇一久さん

日本外科学会認定医／消化器外科学会認定医
1986年山口大学医学部卒。医学博士。高松赤十字病院麻酔科・外科、国立下関病院外科、セントヒル病院外科、山口大学付属病院第二外科を経て、1997年ひわきクリニック院長就任。天神ひわきクリニック理事長兼任。



透析のように血液を循環させながらリンパ球を採取する、専用の血液成分分離装置。個人差はあるが、約2時間で最大数億個レベルのNK細胞を集めることも。化学療法後でも採取は可能。※医師の判断による。

自らの『NK細胞』を活性化・大量培養！ 新たな可能性が広がる、京都大発のがん治療

どんなに健康な方でも、毎日5千〜1万個の細胞が何らかの原因でがん化しているというところをご存知だろうか？にも関わらず、多くの方ががんを発症しないのは、免疫細胞であるNK細胞（ナチュラルキラー細胞）の働きに因るとされている。

ANK癌免疫療法とは、患者の血液からNK細胞を成分採取し、活性を高めて増殖させ、体内に戻すことでがん細胞を直接攻撃させる療法のこと。体内の眠っている免疫細胞の活性化を促すことが確認され、近年、第4の

がん治療として注目を集めるがん免疫療法である。NK細胞は体内を隅々まで巡るため各部位に散らばった摘出困難ながん細胞も攻撃。また、がんの再発・転移に深く関わっているとされるにも拘らず、化学療法・放射線療法に対して抵抗性を示すとされるがん幹細胞をも攻撃するため、がん治療に可能性が広がるとされている。

NK細胞採取は7リットルの血液を特殊な器械で体外循環させながら分離し、体内に戻す際は点滴で済むため、通院での治療となる。自分の細胞を使うため安心感もあり、既に全国で30000人を超える治療例が報告されている。

告されている。

この療法を行う「ひわきクリニックグループ」（北九州市小倉・福岡市天神）では、かかりつけ医と連携し、従来の標準治療（手術・化学療法・放射線療法）と併用した治療設計を提案。同院では治療前の面談・施術後の経過観察などのサポートも厚い。

自らのNK細胞を使ったANK癌免疫療法は、アメリカLAK療法大規模臨床試験で活性の高いNK細胞ががん細胞を攻撃するということが確認され、京都大学で開発された療法。これからのがん治療に新たな可能性をもたらしてくれるだろう。

ANK癌免疫療法の治療費用及び免疫副反応について

ANK治療は自由診療のため、治療費用は全額自己負担となる。1クール（標準12回の点滴投与）分の治療費はおよそ407万円〜。また、活性化したNK細胞の放出するサイトカインにより、高熱や悪寒、風邪に似た症状など様々な免疫副反応がでることがある。高熱に対しては、頭部や脇やそけい部などを冷やせば、特に危険ということはなく、いずれも患者個人の状況により異なるので、事前に医師と相談し、納得してからはじめるとをお勧めしたい。

<主な費用>※1クール（標準12回の点滴投与）の場合
○初診相談料（5千円〜）○リンパ球採取費用（16万円〜/回※1クール1〜2回）○搬送費用（5万円〜）○培養費用（368万円〜）○細胞点滴投与費用（1万円〜/回※1クール＝12回）※別途、その他医療行為に関わる諸費用（検査料、薬代、他）

診療科

外科、消化器科、呼吸器科



ひわきクリニック

☎093-511-2014 ☒北九州市小倉北区浅野2-14-65
アパホテル小倉駅前1F ☑午前/9:00〜12:30、午後/14:00〜18:00※水・土は午後休診 ☑日・祝 ☑小倉駅徒歩2分 ☑<https://www.hiwaki.com/>



天神ひわきクリニック

☎093-511-2014 ☒福岡市中央区大名2-9-34 アクシブ天神ビル702号 ☑火・金/9:00〜12:00、水/14:00〜18:00 ☑日・月・木・土 ☑天神駅徒歩6分 ☑完全予約制 ☑<https://www.tenjin-hiwaki.com/>

小倉北区・福岡中央区

医療法人ひわき医院
ひわきクリニック